



ROCK PAINT

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます。

国土交通大臣認定

認定番号	区 分
NM-8585	不 燃 材 料
QM-9816	準不燃材料
RM-9364	難 燃 材 料

塗料塗装
(一社)日本塗料工業会

低臭アクリル樹脂系非水分散形塗料(つや消し)

EVER ROCK[®] NEXT II エーロックネクストII

ロックペイント 株式会社

エバーロックネクストIIは、強力なヤニ・シミ止め性が求められるところに適しており、塗装中、塗装後に発生する臭気を大幅に低減させた速乾性のあるカチオン型塗料です。

特長

1. 低臭性

塗料中の溶剤は低臭タイプの採用により、塗装作業中や塗装後の臭気を大幅に和らげます。(※希釈は塗料用シンナーでもご使用できますが、従来型の臭気となります。)

2. 強力なヤニ・シミ止め効果

旧塗膜に付いたタバコのヤニや水性のシミを抑える効果が強力です。

3. すぐれた付着性

カチオン型樹脂を使用しているため、塗り替え時はシーラーなしで塗装できます。(※新設時や吸い込みの著しい素材、脆弱な下地の場合は、シーラーが必要な場合があります。)

4. 防藻・防かび性

防藻・防かび剤の配合により、湿度の高い場所でもカビや藻類の発生を抑え、長期間にわたり清潔な住環境を維持します。

5. 作業性・乾燥性

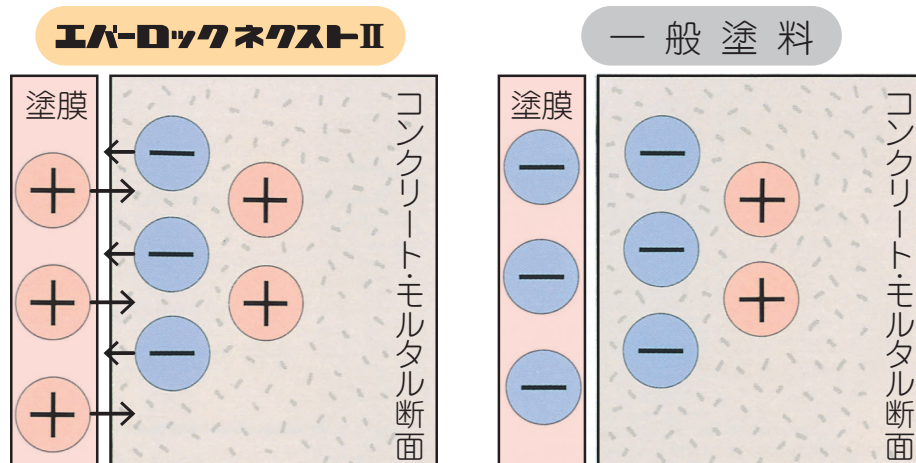
造膜性にすぐれているため、冬場の低温時でも塗装しやすく、乾燥性もすぐれています。

6. 防火材料

国土交通大臣認定 (NM-8585不燃材料、QM-9816準不燃材料、RM-9364難燃材料) の塗料です。

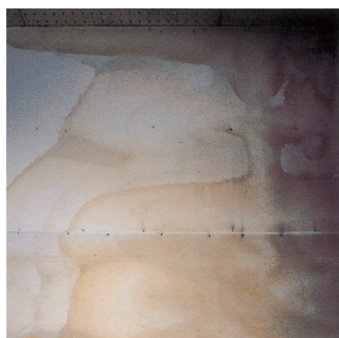
付着性のメカニズム~カチオン型樹脂~

エバーロックネクストIIの樹脂中の⊕電気が素地の⊖電気で引き合うため強力な付着力を示します。

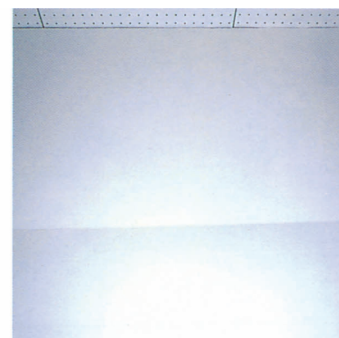


ヤニ・シミ止め効果

エバーロックネクストIIは弱溶剤タイプのカチオン型樹脂を使用しているため、水性の「ヤニ」、「シミ」はシーラーを使用しなくてもとめることができます。



▶ 塗装前



▶ 塗装後1ヶ月

用途

戸建住宅、集合住宅など屋内外壁面、軒天の塗装、各種塗り替え用塗装

適応素地 コンクリート、モルタル、PC板、ブロック、スレート板、せっこうボード、屋内木部など

適応旧塗膜 SOP、EP、FE、吹付タイル、リシン、スタッコなど

品種と容量

品番	品名	容量
092-6206	エバーロック ネクストII ホワイト	16kg
092-6024	エバーロック ネクストII ファインエロー	16kg, 4kg
092-6030	エバーロック ネクストII ブラック	16kg, 4kg
092-6040	エバーロック ネクストII シンクレッド	16kg, 4kg
092-6080	エバーロック ネクストII ロイヤルブルー	16kg, 4kg
092-6225	エバーロック ネクストII オキサイドレッド	16kg, 4kg
092-6233	エバーロック ネクストII オーカー	16kg, 4kg
092-6209	エバーロック ネクストII オフホワイト(N-90) ¹⁾	16kg
012-5092	エバーロック ネクスト シンナー ²⁾	3.5L, 16L

光沢：つや消し

指定色：淡彩色～濃彩色 16kg

標準塗り面積：120～145㎡/16kg

消防法表示：指定可燃物(シンナーは第二石油類)

有機溶剤表示：第3種有機溶剤等

1) 色彩は日塗工 塗料用標準色 N-90です。

2) 上記専用シンナーを指定します。また、塗装時、塗装後に臭気は発生しますが、塗料用シンナーもご使用いただけます。



性能 (白および淡彩 JIS K 5670に準拠)

試験項目	規格	試験結果
容器の中の状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。	合格
塗装作業性	はけ塗り及びローラーブラシ塗りに支障があってはならない。	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
乾燥時間(半硬化乾燥)	5時間以内(23℃)	合格
隠ぺい率	90%以上	合格
耐水性	96時間の試験で水に浸しても異常がないものとする。	合格
耐アルカリ性	72時間の試験で水酸化カルシウム飽和溶液に浸しても異常がないものとする。	合格
促進耐候性(キセノンランプ)	250時間の照射時間で塗膜に割れ、はがれ、膨れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて小さく、白亜化の等級が1以下とする。	合格

標準塗装仕様 [コンクリート、モルタル面]

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準使用量 (kg/㎡・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	新設のコンクリート、モルタル面は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分乾燥させ、エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなどを完全に除去する。塗り替えの場合、旧塗膜の浮き、はがれ、汚れ、カビ、チョーキングなどは、皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で除去し、乾いた清浄な面とする。 吸い込みの著しい素地や脆弱な素地の場合、ロックカチオンシーラーマルチシリーズで素地固めを行う。					
下塗り	092ライン エバーロック ネクストII 指定色	エバーロック ネクストII シンナー	ハケ・ローラー : 0～15% エアレス : 10～20%	1	0.11～0.13	2時間以上
上塗り	092ライン エバーロック ネクストII 指定色	エバーロック ネクストII シンナー	ハケ・ローラー : 0～15% エアレス : 10～20%	1	0.11～0.13	2時間以上

※仕様の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスや天候、素地の状態、天候、塗装方法などによって異なる場合があります。

※軒天がリシン仕上げなどの場合は塗装時のロスが大きく、塗料使用量は上記標準使用量の約20～50%増しを目安となりますので、ご注意ください。

※各種建築用シーラーとの適性については、最寄りの営業所へお問い合わせください。

施工上の注意事項

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上の塗装は避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 塗料全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗り場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ・ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
- 作業能率の低下および塗りムラの原因になるため、スプレーノズルの先端は時々洗浄してください。
- 希釈には必ずエパーロックネクストシンナーを使用してください。塗装後に臭気が発生しますが、塗料用シンナーも使用できます。
- 調色には必ず092ライン エパーロック ネクストII原色または、ロックオンカララント3000(ベースの5%以内)を使用してください。
- ヤニの付着が著しく汚れがひどい場合には、中性洗剤を用いてできるだけヤニなどを除去し、十分乾燥させてから塗装してください。
- 色相などにより、水滴などがかかると濡れ色になることがありますので、乾燥すると元に戻ります。
- ヤニ面に塗装する場合は希釈を少なめに1回目を塗装し、十分な乾燥時間(23℃で約6時間)をとってから2回目を塗装してください。
- 水性のしみやアク面は止まりにくい場合がありますので、水拭きを行い、十分乾燥させた上で塗装してください。
- 吸い込みの著しい面にはロックオンシーラーマルチⅢなどであらかじめ下塗りをしてください。塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- けい酸カルシウム板へ塗装する場合は、種類、劣化の度合いによっては付着不良を起こす場合がありますので、試し塗りすることをお奨めします。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮われなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがあります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックンタックプライマーS」を塗装してください。塗膜の汚染・剥離・はがれ・割れの低減が図れますが、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りすることをお奨めします。なお、ノンブリードタイプのシーリング材に「ロックンタックプライマーS」は塗装しないでください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- 外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- 塗装面の取り合い等で可塑剤が多く含まれる建材(塩ビ鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビコシなど)への直接の塗装は塗膜が軟化することがあり避けてください。また、これらの素材に塗膜が接触・付着しないように注意してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、業系サイディング、その他の断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 笠木、天端など長時間の滞留する箇所では塗膜の白化、ふくれなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 繊維質の壁や耐火被覆されているような表面が脆弱な被塗物には塗装できません。
- 乾燥後、頻りに手などが触れる扉や手すりなどでは塗膜表面がしだいに軟化するおそれがあります。状況により手などが触れにくくするようプレートなどを設置してください。
- 室内で水のかかる箇所に合成樹脂エマルジョンパテを使用しないでください。セメントフィラーをお奨めしますが、エプロレシセンスが発生する場合がありますので、養生期間は十分に取ってください。
- 内部の塗り替えで旧塗膜が合成樹脂調合ペイントやフタル酸樹脂エナメルなどの油性系の場合、ペーパーがけを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離になることがあります。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 屋外セメント系素地に段差・巣穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。
- シーラー塗装した場合、塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- シーラー塗装した場合、乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度シーラー塗装を実施してください。
- エポシーラーマルチは下塗りに使用しないでください。
- 木の材質、下地の状況によっては割れ、はがれが生じることがありますので、事前に試し塗りを実施し確認してください。
- 木部塗装で釘頭には、サビ止め塗料(サビカットII)を塗装してください。釘頭が錆びている場合は、サンドペーパーを用いて錆びを除去してからサビカットIIを塗装してください。
- 新設の木部の場合は、含水率15%以下で行ってください。また節止めは必ずセラックニスを塗装してください。
- カウンター、テーブル、イス、棚、床等への塗装は避けてください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 塗色が濃い場合、塗膜を強くこすると色落ちすることがありますので注意してください。
- 乾燥した塗膜に付着した汚れはシンナーなどで拭かず、中性洗剤で洗浄してください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りすることをお奨めします。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温23℃、湿度65%の場合)
- 下地の種類、状態によっては、下塗りや表面荒らしが必要な場合があります。
- 旧塗膜がつや有り仕上げの場合、条件により適さない場合がありますので、あらかじめ試し塗りしてから施工してください。
- 弾性系塗膜の塗り替えには使用できません。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
- この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプです。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素地を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなくなる場合がありますので注意してください。
- 上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠れ性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色(近似色)で下塗りした後、上塗り塗装してください。
- 防藻・防カビ効果は繁殖を抑制するため、既に発生している被塗面には、下地処理として除去および防藻・防カビ処理剤などで殺菌処理した後、塗装してください。
- 屋外木部の塗装は避けてください。剥離やクラックが発生することがあります。
- 同じ塗装面の一部アクセントカラー等異なる色彩を塗り重ねる場合、塗り重ね部分がブリーにより変色することがありますのでご注意ください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれカタログをご参照ください。
- 取扱の際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上及び取扱上の注意

【製品の危険・有害性】

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になる恐れがある。
- 目、皮膚、粘膜等に対し刺激性がある。

【救急処置】

- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

【取扱注意事項】

- 取扱は引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服、取扱は避けてください。
- 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
- 溶剤蒸気やスプレードスタを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。

- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護メガネ、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着等を着用してください。
- 取扱後は手洗い及びうがいを十分にを行い、作業着等に付着した汚れをよく落とすしてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の製品と混合しないでください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

【施工後の安全性について】

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにご配慮願います。

安全データシート(SDS)をよく読んでから取り扱ってください。

ロックペイント株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000
札幌営業所 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304
仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11-201
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255
西関東営業所 〒229-1131 神奈川県相模原市西橋本1-15-16
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000
名古屋営業所 〒454-0059 名古屋市市中川区福川町1-1
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433
岡山営業所 〒701-1134 岡山市北区三和1000-34
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966
福岡営業所 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <https://www.rockpaint.co.jp>

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店